2025/5/30

第6次山ノ内町総合計画後期基本計画策定に伴う
各種まちづくりアンケート調査結果

①町外からの勤務者アンケート

②子育てアプリ利用者アンケート

③保育園保護者アンケート

第１章 アンケート調査概要

1. 調査目的

山ノ内町のあるべき将来像を定め、魅力あるまちづくりの実践にあたって、様々な属性の方から広く意見を聞き、第６次総合計画前期基本計画の評価と後期計画を検討するための基礎資料とするため、まちづくりアンケートを補完する目的で調査を実施しました。

2. 調査概要

①町外からの勤務者アンケート
②子育てアプリ利用者アンケート
③保育園保護者アンケート

2-1. 調査対象

①山ノ内町商工会会員 300 団体及び山ノ内町役場に勤務する町外在住者
②山ノ内町子育てアプリ「はぐナビ☆やまのうち」登録者
③町内保育園保護者

2-2. 調査期間

令和７年４月～５月

2-3. 調査方式

①②WEB上で回答
①③調査票への記入

2-4. 有効回収票数

①104 件
②5 件
③136 件

2-5. 集計、結果整理について

・設問には１つのみ答える単数回答と、「2つまで」、「いくつでも」など複数の回答を求める複数回答があります。（複数回答のみ表示しています）
・ 集計（グラフや表）については、回答者数に対する回答割合（%）を集計しているため、複数回答の設問では割合の合計が100%を超えます。
・選択肢ごとの割合は、小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないものがあります。
・ 設問毎の回答者数は（N＝回答者数）と表示しています。また、複数回答の設問についても「回答者数」を表示しています。

第２章 アンケート調査結果

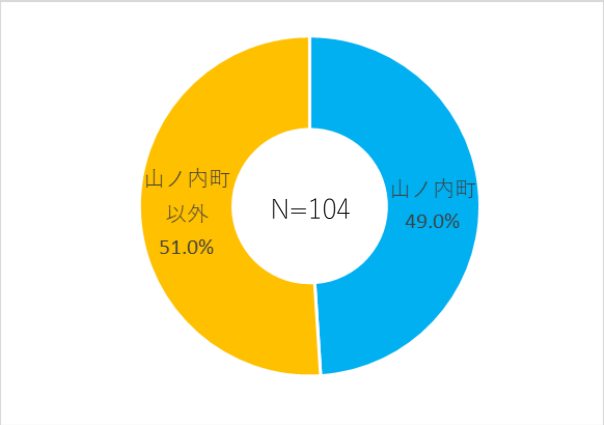
①町外からの勤務者アンケート

1. 回答者属性

回答者の属性はそれぞれ次のとおりです。

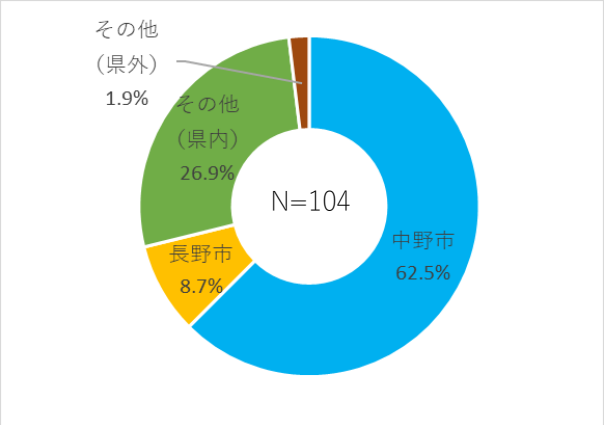
(1) 出身地

	回答数	構成比
山ノ内町	51	49.0%
山ノ内町以外	53	51.0%
計	104	100.0%



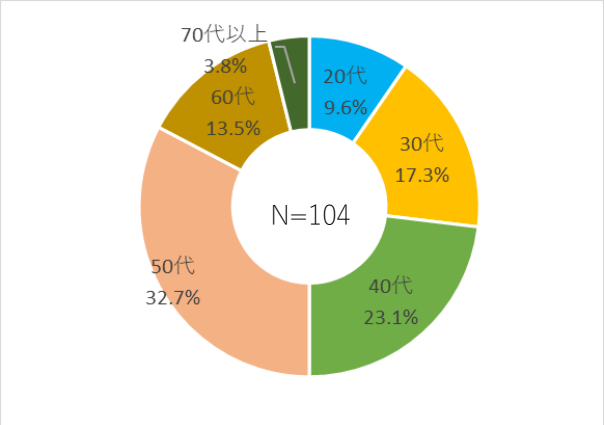
(2) 現住所

	回答数	構成比
中野市	65	62.5%
長野市	9	8.7%
その他（県内）	28	26.9%
その他（県外）	2	1.9%
計	104	100.0%



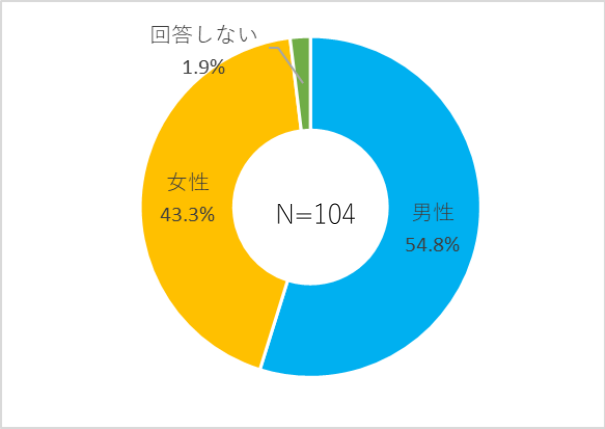
(3) 年齢

	回答数	構成比
20代	10	9.6%
30代	18	17.3%
40代	24	23.1%
50代	34	32.7%
60代	14	13.5%
70代以上	4	3.8%
総計	104	100.0%



(4) 性別

	回答数	構成比
男性	57	54.8%
女性	45	43.3%
回答しない	2	1.9%
計	104	100.0%

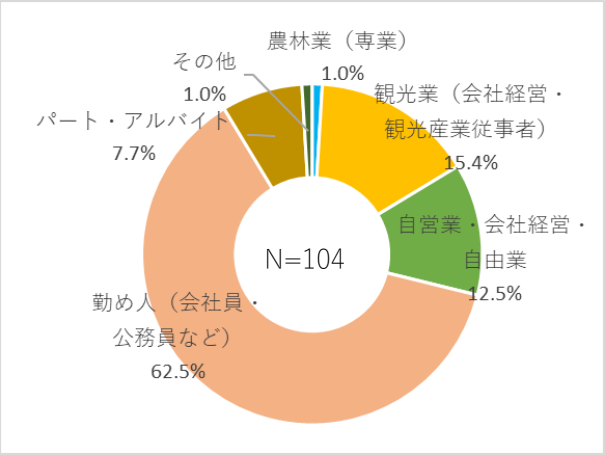


(5) 職　業

	回答数	構成比
農林業（専業）	1	1.0%
観光業（会社経営・観光産業従事者）	16	15.4%
自営業・会社経営・自由業	13	12.5%
勤め人（会社員・公務員など）	65	62.5%
パート・アルバイト	8	7.7%
その他	1	1.0%
計	104	100.0%

【その他回答】

・宿泊業

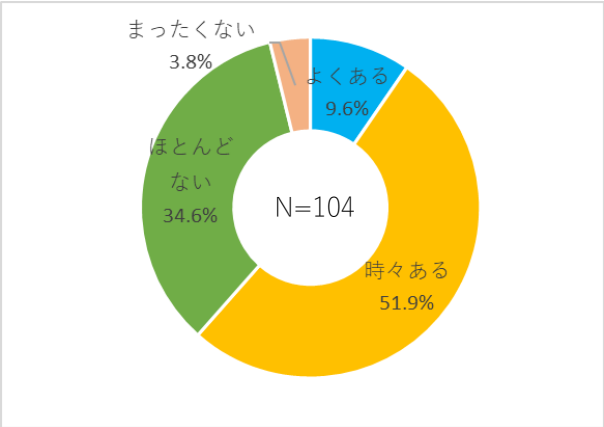


2. 山ノ内町に住むことについて

2-1. 通勤以外で町内の施設やお店を利用することはありますか。

「時々ある」が51.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」（34.6%）となっています。

	回答数	構成比
よくある	10	9.6%
時々ある	54	51.9%
ほとんどない	36	34.6%
まったくない	4	3.8%
計	104	100.0%

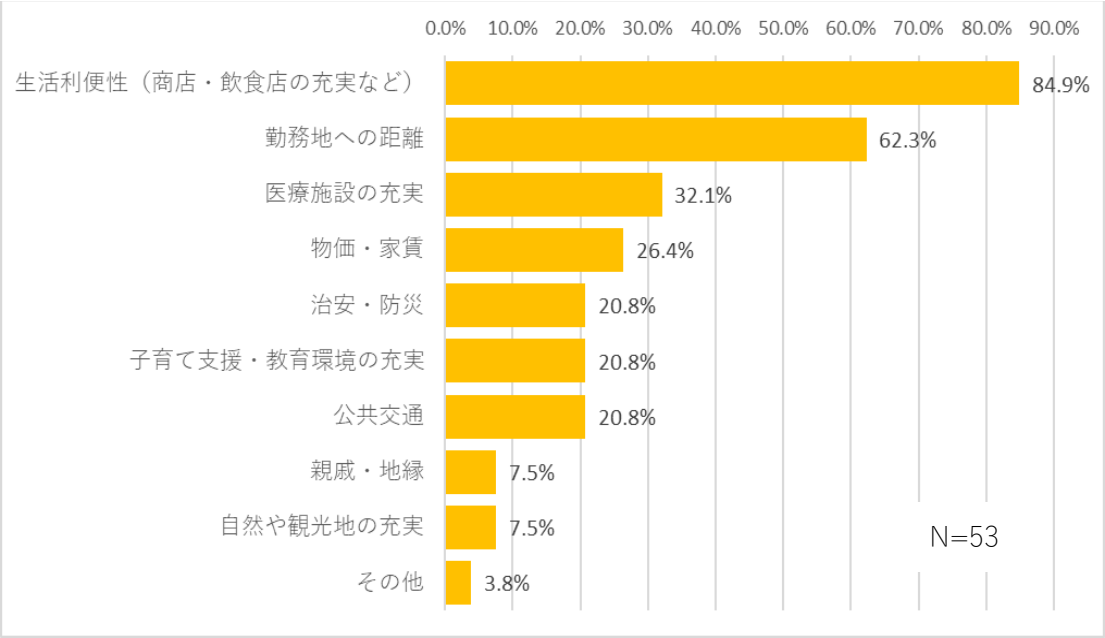


2-2. 住む場所を決めるときに重要視する項目は何ですか。〔複数回答〕※町外出身者対象

「生活利便性(商店・飲食店の充実など)」が最も多く84.9%となっています。
次いで、「勤務地への距離」（62.3%）、「医療施設の充実」（32.1%）となっており、「親戚・地縁」「自然や観光地の充実」は7.5%でした。

	回答数	構成比
生活利便性（商店・飲食店の充実など）	45	84.9%
勤務地への距離	33	62.3%
医療施設の充実	17	32.1%
物価・家賃	14	26.4%
治安・防災	11	20.8%
子育て支援・教育環境の充実	11	20.8%
公共交通	11	20.8%
親戚・地縁	4	7.5%
自然や観光地の充実	4	7.5%
その他	2	3.8%
回答者数	53	

【その他回答】
・雪が少ないところ

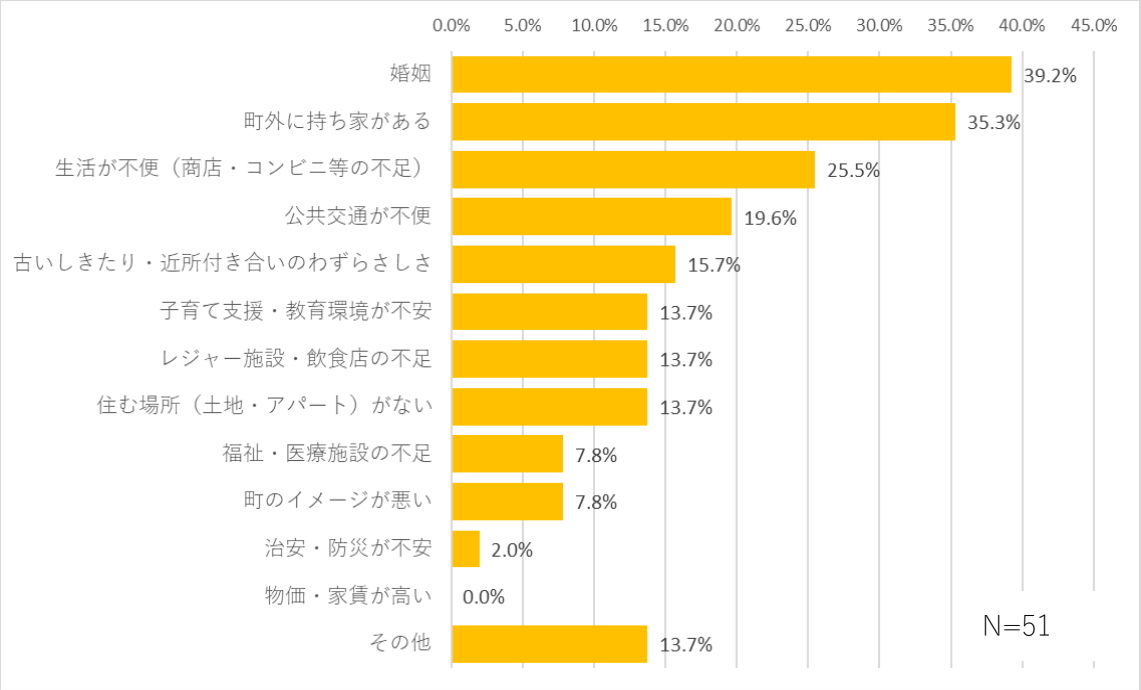


2-3. 現在町内に住んでいない理由は何ですか。〔複数回答〕※町内出身者対象

「婚姻」が最も多く39.2%となっています。
次いで、「町外に持ち家がある」（35.3%）、「生活が不便（商店・コンビニ等の不足」（25.5%）となっており、「治安・防災が不安」は2.0%でした。

	回答数	構成比
婚姻	20	39.2%
町外に持ち家がある	18	35.3%
生活が不便（商店・コンビニ等の不足）	13	25.5%
公共交通が不便	10	19.6%
古いしきたり・近所付き合いのわずらさしさ	8	15.7%
子育て支援・教育環境が不安	7	13.7%
レジャー施設・飲食店の不足	7	13.7%
住む場所（土地・アパート）がない	7	13.7%
福祉・医療施設の不足	4	7.8%
町のイメージが悪い	4	7.8%
治安・防災が不安	1	2.0%
物価・家賃が高い	0	0.0%
その他	7	13.7%
回答者数	51	

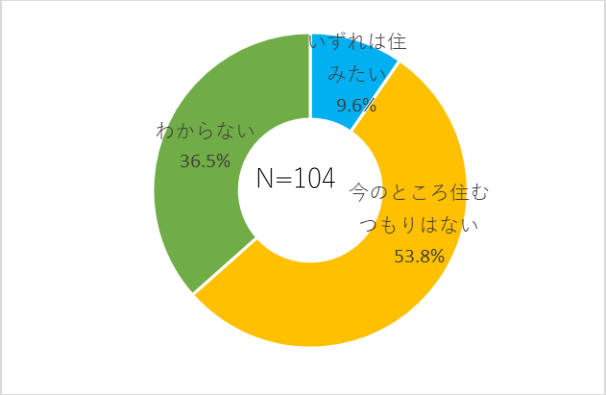
【その他回答】
・町内に自宅がある
・親の介護、嫁の強い意向
・義理の父の介護等のため
・「町外に持ち家がある」は現状を選択したものであり、町外に住んでいる直接的な理由とは言えないため選択してない。



2-4. 今後山ノ内町に住むことについてどう思いますか。

「いずれは住みたい」が10.2%、「今のところ住むつもりはない」が54.1%、「わからない」が35.7%となっています。

	回答数	構成比
いずれは住みたい	10	9.6%
今のところ住むつもりはない	56	53.8%
わからない	38	36.5%
計	104	100.0%



3. 自由記述（まちづくり全般について）

■現在、中野市に住んでいて、山ノ内町の[redacted]に勤務しています[redacted]と申します。東京都内の不動産会社に 14 年ほど勤務して、3 年ほど前に実家のある山ノ内町に戻ってきました。
東京都の中央線沿線、吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵野市、三鷹市を中心に 26 市区町村ほどのエリアで不動産売買を行ってきました。複数の行政エリアで不動産仲介業を経験し、山ノ内町にあったら良いなと思う事、感じたことをまとめました。

①小学校の 2 校廃校について
20～40 代の子育て世代にとって、小学校は生活には無くてはならないライフラインのようなもの、若しくは居住地を選ぶ条件の中で上位に優先すべき事項の一つです。このお客様層は人口維持に直結しますので、何とか住んでもらいたいと思っています。しかし、自分自身の仕事を継続していく市場の魅力として（町を商品として地域の魅力を伝える立場として）非常にネガティブな事項と感じています。
子育て世代のお客様が不動産を購入する際に、高い割合で『小学校までの距離は？道のりは安全か？』と質問がありますが、大変答え難く、市場として不安を感じています。
『小学校徒歩圏内でなければ購入は見送ります』との結論のお客様は多いので、バス通学などのサポート体制を整え、その情報をきちんと発信する資料があると不安の軽減につながります。マイナス面を補完する何かがあると売買が進みやすいなと思います。
バスで学童保育やスポーツ教室などに参加出来るなど

また、廃校後の建物の後利用も合わせて検討していただきたいです。町の未来につながる後利用にしていただきたいです。
最低でも、町内にいくつかある閉園した保育園のように廃墟化はしないでほしいです。その姿は地元に愛着があり戻ってきた人、勤務していた先生は大変残念に思いますし、子育て施設の廃墟化は街並みとしても、そのままにしている町の姿勢としても最悪に感じます。

②小学校統合場所について
一般的に、小学校の徒歩圏内は住宅地化が進みます。山ノ内中学校の敷地に小学校を統合する場合、周辺の商業地域や湯田中温泉街の住宅地化がより加速し、観光地らしい町並みが失われていくことが心配です。
また商業地と住宅地は相性も悪く、どちらも良い方向に発展はしないと思います。

③山ノ内町の商業地域内の建築制限の無さに驚き、なるべくしてなったのかもしれないと感じました。

都内では、商業地域は建ぺい率、容積率が高く、敷地が狭くても三階建てや建物が大きく建てられる為、制限のない商業地域は建売業者やアパート業者に狙われていましたが、特定の場所では条例があり一般住宅を建築することはなかなか出来ませんでした。吉祥寺のある隣町の、東京都三鷹市では商業地域には『特別商業活性化地区』という条例が指定されており、商店街等に住宅を建て難くするような制限がかけられていました。
https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/022/022646.html

正確ではありませんが、要約すると、住宅を建てる場合は1階部分は店舗にしないと建築が出来ないというような内容です。
残念ながら穂波温泉の商業地域は、数件の旅館、店舗はありますが、ほぼ住宅地化しているように感じます。湯田中駅、湯田中温泉街周辺の商業地域もほぼノーガード状態なので、②のように小中学校ができ、廃業した店舗跡地等に住宅が増えてしまえば、温泉街としての町並みの魅力は無くなっていくかと思います。温泉街に山ノ内町のアパート建設支援補助金を使われてしまえば目も当てられません。
特別商業活性化地区などの条例があっても、地域の事を考えない業者によるすり抜けもあるので、防御策の精査はとても難しいのですが、その地域に合った商業地域の建築制限や条例の整備が必要だと思います。人気の町も、廃れていく町も、長い年月をかけて、なるべくしてなるのかと感じました。

④ 建築基準法　42条2項道路のセットバック後、セットバック部分補修方法、取り扱いについて
15年ぶりに山ノ内町に戻って感じたのは、道路幅の狭さがほとんど改善されていないことです。
吉祥寺のある武蔵野市は、二項道路のセットバック後のセットバック部分補修方法などの取り扱いが明確です。
https://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/doro/1005608.html

武蔵野市は1996年頃より導入され、約29年経過しています。武蔵野市と隣接する練馬区は2018年頃より導入され、約7年経過しています。武蔵野市内の道は、L型側溝や最低でも縁石が施工され、官民の道路境が明確ですが、隣接の練馬区は道路境に明確な縁石等が無く、アスファルトの汚い切れ目が官民の境目かな？という形で、細かく言うとそれだけでは無いのですが、街並みも悪いです。練馬区も、お隣の小金井市も道路を通るだけでどちらの行政か分かるレベルです。山ノ内町の場合は、セットバック部分には塀などを建てない、などといった当たり前の内容レベルのみで、指導も無く、せっかくの新築時にも明確にセットバックできていないと感じます。現状のままでは時間が経過しても道は最低限の4mにもならず、安全性や、街並みも悪いままです。道は街並みの良さに大きく影響があります。2項道路の取り扱いを改善していただきたいです。

⑤東京都の安全条例のように、角地には視認性を確保するための隅切り（2m）を義務化するべきだと思います。道が狭く、隅切りもない状況は、事故の原因となりかねません。

⑥ 都市計画税が無い事で、驚きと、町の発展の可能性の無さを感じました。
不動産を維持する税金が安いので、空き家など『放置』という最悪な考え方も生まれるのかと思います。税制の見直しも含め、町の発展に繋がるような仕組みを検討していただきたいです。

⑦DX化の前にまずはデジタル化を進めてほしい
都市計画図、道路台帳、道路種別図、上下水道埋設管図、埋蔵文化財包蔵地域図、その他法令などネット上で調べられるようにしていただきたいです。
水道の調査も窓口で紙を調べる
埋蔵文化財も地図を送り担当の方からの返答を待つ
などお互いとにかく時間も窓口業務というコストもかかるので、不動産取引のスピードも大きく低下します。
以下の三鷹市の「わがまちマップ」のようなオンライン地図があると非常に便利です。
https://www2.wagmap.jp/mitakacity[sanitize]sp/

終わりに
妻も私も山ノ内町出身で、山ノ内町に愛着も感謝もあり、戻りたい気持ちも強くあります。しかし、私たち自身も北小学校の廃校に至るまでの経験や、小学校の不安定さ、子供の教育面や道路などの安全面、子供や未来に対しての不安面から、山ノ内町への居住を断念しました。それでも、お互いの山ノ内町の両親や、不動産という地域に密着し、町の未来にに連動する仕事を通じて、町を日々見ています。

日々、町の皆さまや関係者の皆さまには温かく接していただき、本当に感謝しております。
本来であれば、もっと簡潔で分かりやすい文章にすべきところ、思いが強く、長文・乱文となってしまったことをお詫びいたします。
稚拙な表現も多々あったかと思いますが、町の未来を願う一個人の率直な声として受け取っていただければ幸いです。
最後まで読んでいただき、本当にありがとうございました。
■企業の誘致など、若い人が帰って来て仕事が出来る環境を整えてほしい。
■駐車場がないので飲食店の利用も出来ない。
■可もなく不可もなく、特にありません。温泉はグッド
■老後の交通の便利、生活面での便利、買い物・お店　イベントなど楽しみ、花火大会など、お祭り、場所
■特になし
■地域によって支援のばらつきが大きすぎます。また子育てがしやすいとはとても思えません。自分も子供の頃山ノ内で過ごしましたが、いじめにも対応してもらえず、こども達を安心して学校に預けられないと思います。
■難しい問題ではあるかもしれませんが、建物の劣化や高齢化、飲食店の少なさは課題なのではないかと思います。
■①私が子育て世代として生活した茨城と東京の良かった点をあげます。参考にしていただけたら幸いです。
・幼稚園バスが家の玄関まで迎えに来てくれる。
・幼稚園バスが 1 日 1 往復ではなく帰りは 3 本出る
14 時 16 時 17 時など
・延長保育の際に格安で習い事が出来る（スイミング、サッカー、ダンスなど 1 種類週 1 回で月 4000 円）
・上記を合わせると、朝に玄関で子供を預けたら幼稚園が終わって、そのまま習い事をして、帰りもバスで玄関まで送ってきてくれる
・保育園は土曜日や 19 時くらいまで子供を預けられる
・複数の子育て支援がある。園代、給食費などは無償。払うとしたらバス代月 4000 円と習い事、服飾費
・役場で職員が子連れ出勤可能(やる人は限りるでしょうけど)

茨城県の少子高齢化は県全体としてみると全国的には平均くらいだったと思いますが、県南エリアに絞った場合は若い世代の流入や子供が多いエリアで発展している印象でした。守谷市やつくば市は地方交付税の不交付自治体になる事もあります。
茨城県は工場の県外企業の誘致がほとんど毎年全国で 1 位になっており、誘致される工場の多くが県南なのではないかと想像しています。
また、つくば市は筑波大学をはじめ国の機関が多いことで有名だと思います。
そこら辺が不交付自治体となる要因と関係あるような気がしています。

大学は全入世代と言われ。、今は大学に行く若者が当たり前となっていますが、山ノ内町には小中学校しかないため、早ければ高校生になると若者が流出し始めます。
若者を流出しないような施設(教育機関、就労先など)、なるべく大規模な施設が誘致出来ると持続的で良いサイクルができ発展につながるような気がします。

②まちづくりとして
・高速道路で計画(建設中？)されている新しいインターチェンジ(スマート IC 含む)は全国で 8 箇所あるそうですがそのうち半分の 4 箇所は茨城県に集まっていたと思います。須坂や佐久のように IC が出来ると倉庫や道の駅、商業施設が出来て人を引き寄せるような施設ができてくるのを目の当たりにしました。
・圏央道がある境町では無料の無人路線バスをすでに導入しており、東京への高速バス通勤の補助が町からでて、25 年住めば一軒家をプレゼント、英語教育に力を入れていて英検代が無料、留学支援など独創的なまちづくりをしており去年は数年ぶりに人口増加となったそうです。ちなみに一人あたりの？交付税が全国トップクラスだったように思います。
・圏央道のある阿見町は人口が増え、市の条件である 5 万人を突破したため阿見市に変更になるそうです。
どちらの町もたぶん電車の駅はありません。(阿見は近くに JR の駅がありますが徒歩圏内としてはエリアが限られてると思います。)

簡単ではないと思いますが、交通事情を改善して、大きな施設などを誘致できた自治体が発展できているのかなと思いました。

■観光のお仕事をはじめて日が浅いですが、なにかイベントごとであったり、企画であったり新しいことなどをしたいと声を上げる方がいても、「うちの関係する仕事じゃない」とか「一部の地域（施設）だけのことに協力することはできない」とか「儲からない」「人がいない」など、何かと断る理由探してばかりで前向きに前のめりなチャレンジをしようとする動きがなく、せっかく山ノ内町を盛り上げようとしている可能性を潰してることが多いように感じます。
もっと、小さな声、小さな力の持つ可能性を大切にしながら街を盛り上げていこうというパワーが必要ではないでしょうか？
全面的に関わらなくても、集まってくる小さな声同士を結びつけて、「◯◯が考えていることとあなたたちの考えてるいることを結びつけると、こういう大きな企画になるのでは？」という、小さな声同士のマッチングなどができれば町に埋もれてる可能性を磨くことができると思います。
どこか、そういう企画ややりたいことのマッチング窓口があれば町に活気が出ていいと思います。
■公共交通が不便すぎる（特にグリーンシーズン）観光地でもこれでは全体はこまるのでは？
■子供や老人、犬に優しく、整備されて皆が集えるような公園。北志賀夜間瀬、平穏湯田中穂波、志賀高原に各一箇所づつ設置。全町を網羅するスクールバス体制。
■中小の河川の整備をした方が良いと思います。河川に木が生えていたり、土砂が堆積していたりしています。近年、気候変動により局所的な豪雨災害が頻発している事に非常に心配をしています。
■引き続き観光と農業が町の産業の中心となるので行政とも強力に連携し町の発展に尽力したい

■歩道などの整備があまり出来ていないので、町の自然を感じたくても、子育てや散歩等で不便そうだと感じます。
■冬以外に遊べるところがない
■町外や県外の方は山ノ内町という町名にどんな町なのかイメージが湧かないようです
名前を変えるのは難しいと思いますが
白馬村、軽井沢町、小布施町など勢いのある村や町に追いつくにはどうしたらいいのか？
今後発展していくには町民皆さんの統一感が必要だと感じます。
■インバウンドが好調だが、働く人間や住民にがプラスの恩恵を感じる事が少ない。山ノ内町で働いていてよかったと感じるようなまちづくりをお願いしたい。
■町内に働き場所が、限らるれる。商店や衣料品店とうが少なく、中野市や長野市へ行って仕舞います。
■イベントが少ない
■国内外問わず観光客が年々増えていると思いますが、観光客の人数に対して温泉が狭いんじゃないかと思います。また鍵をかけるロッカーが無かったりと設備も充実したほうが良いんじゃないかと思います。また、源泉かけ流しは衛生的であるかどうかも疑問です。
■生活する上で、買い物の不自由だと感じる。また税金が高いと聞いている。
■公共施設（テニスコート等）を使用しようと思うのだが、利用方法がわかりにくい。予約しなければいけなのか、開設時間内に直接行って使用できるのか。値段も高いように思える。開設時間は 8 時～17 時になっているが、ナイターは 21 時と記載されている。
■宿泊事業者の横の繋がりがなくなって来ている感じがする、40 代以下の世代が心配です。面倒かもしれませんが全体が繋がっている組織は必要かと、利と効率ばかり考えている世代が心配、他の組織の皆さんと世代を超えた組織が必要、観光に特化しなくても良い、色々な方々と繋がりが必要です
■観光資源をはじめ、他市町村にはないものを沢山有しておりながら活かしきれていないと感じる。故に今後の発展の伸びしろがある。観光業と地元住民の共栄は難しい課題であるが、大きな商業施設や工場を誘致するような街づくりは現実的ではない。よって観光業に注力し、志賀高原、北志賀高原、渋湯田中の垣根をなくし、町をあげて誘客できる体制構築および意識改革が進めば発展できると考える。
■山ノ内に住む住民後期高齢の方から、車がないとスーパーも遠いし動けないと聞いたことがある。車の免許も次の時に更新されなければ、住むところを変えないとと。交通のことや買い物の出来る場所の確保が必要。長電の電車もあるが料金が高い。（山ノ内とは限らないが）
冬は雪掻きに覆われる。独居の人は大変。遠くから見る雪景色の山はきれい。山ノ内らしい。
温泉、旅館があるのは魅力的。隣市とは言え 1 度は泊まりたい。
■渋温泉、温泉街は、インバウンドや観光客で賑わっているが、北部などは高齢者ばかりで街づくりとは懸け離れているように思う
■魅力ある町にするにはどうしたら良いから、皆でアイデアを出しあう。
■特にありません
■山ノ内町にお住いの方が、希望すれば、小さな菜園（小さな畑、ミニ菜園）を借りれるようになれば、嬉しいのかな～。私の両親は山ノ内町で畑を持っていたり、田を借りたりして、おいしい野菜やお米を食べています。須坂市で生活していると、３人家族の私の買い物は、週１回のスーパーで、５、000 円くらいかかり、物価が高いと感じております。

■プール、体育館などの施設があった方がよいと思う。アクティビティーのような観光客も楽しめるような施設の誘致。

■多種多様な人々にも開かれた町であって欲しいと思います。保育園に関しても、いろいろなところの出身の職員がいらして、とても良いことだと思います

〇まとめ

【子育て・教育に関する意見】

主な課題

・学校の遠距離通学、通学の安全性（徒歩圏外問題）

・子育て支援が乏しい（地域格差、保育・教育環境が不安）

提案・要望

・バス通学や学童保育送迎体制の整備

・廃校の建物は、地域の未来に貢献する用途に活用（放置は NG）

・東京都や茨城県のような保育・教育支援の好事例を参考に

【都市計画・インフラ整備に関する意見】

主な課題

・建築規制の緩さが温泉街の景観を損ねている（住宅地化が進行）

・商業地域への無制限な住宅建設が観光地の魅力を損なう

・道路が狭く、セットバックのルールが徹底されていない

・都市計画税の不在が空き家放置などに繋がっている可能性

提案・要望

・商業地域に「商業活性化条例」などを導入（例：三鷹市）

・42 条 2 項道路の整備・明確化（例：武蔵野市）

・隅切り（角地の視認性確保）の義務化

・税制改革も視野に入れ、まちの活性化を促進

・都市計画図などの情報をオンラインで閲覧可能に（デジタル化）

【交通・アクセスの改善】

主な課題

・公共交通の利便性が低く、移動が困難（特に高齢者・観光オフシーズン）

・町内の移動手段、スクールバス体制が不十分

提案・要望

・スクールバスの全町網羅体制の整備

・グリーンシーズンにも対応する公共交通網の拡充

・スマート IC など、高速道路インフラの整備と連動した開発（例：茨城県の事例）

【産業・働く場の確保】

主な課題

・若者の雇用先が少ない（町外へ流出）

・商業施設、飲食店、衣料品店が少ない

提案・要望

・企業や大学など大規模施設の誘致

・イベント企画の支援、企画マッチング窓口の設置

・地元就労と観光が両立する産業の創出（インバウンドの恩恵が住民に届かないという声も）

【地域活性・観光まちづくり】

主な課題

・観光地と地域住民の生活が乖離（渋温泉と北部の格差など）

・観光資源を活かしきれていない

・観光従事者の連携不足

提案・要望

・温泉街としての景観・雰囲気の保護

・観光施設・イベントの増設（冬以外にも楽しめる施設やアクティビティ）

・地域内の横の連携強化（業種や世代を越えた協働）

・公園整備や、誰もが集える空間づくり

・温泉設備の見直し（ロッカーや衛生面への不安も指摘）

【生活のしやすさ】

主な課題

・高齢者や車がない世帯への生活支援が不十分

・買い物の利便性が低く、町外へ出る必要あり

・税負担が相対的に高く感じられている

提案・要望

・小さな菜園貸し出しや家庭菜園の普及支援

・公共施設（体育館、プールなど）の整備と使いやすさ向上

・公共施設利用方法の情報整備（ナイター対応など含む）

【町の運営・行政の姿勢】

主な課題

・新しいチャレンジに対して消極的な風土

・企画のマッチングやアイデアの活用が不足

・DX 化以前に基本的なデジタル整備が遅れている

提案・要望

・小さな声を拾い、連携させるマッチング体制

・オンライン地図サービスなどの導入（例：三鷹市「わがまちマップ」）

・地域間の支援格差是正

・町外居住者の個別背景への配慮（「数字のみの判断」は避けてほしいという声）

📝 総括的な傾向と示唆

・回答には、「山ノ内町が好き」「戻りたい思いがある」といった愛着が多く見られます。

・一方で、「現実的には住めない」「子育てや生活環境が整っていない」といった悩みや不安が多く、それが町外移住・定住回避の要因となっていることが分かります。

・生活、教育、働き方、観光、行政と、あらゆる面で「小さな改善」から「制度的改革」まで広範囲に及ぶ声が上がっており、優先順位をつけた段階的な政策実行が求められます。

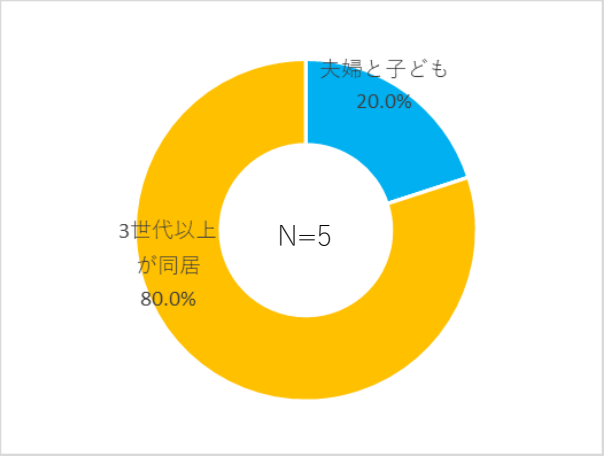
②子育てアプリ利用者アンケート

1. 回答者属性

回答者の属性はそれぞれ次のとおりです。

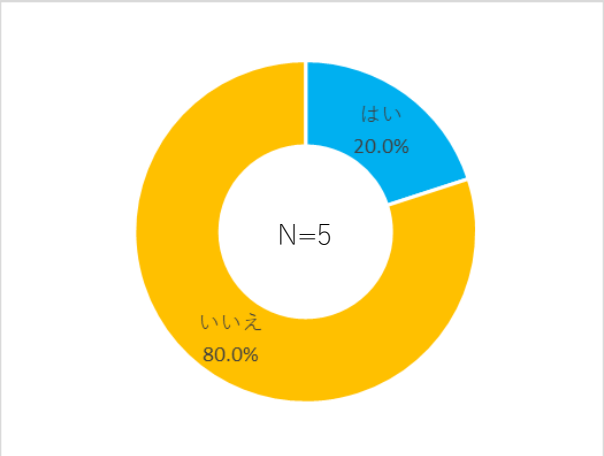
(1) 世帯構成

	回答数	構成比
夫婦と子ども	1	20.0%
母子または父子	0	0.0%
3世代以上が同居	4	80.0%
その他	0	0.0%
計	5	100.0%



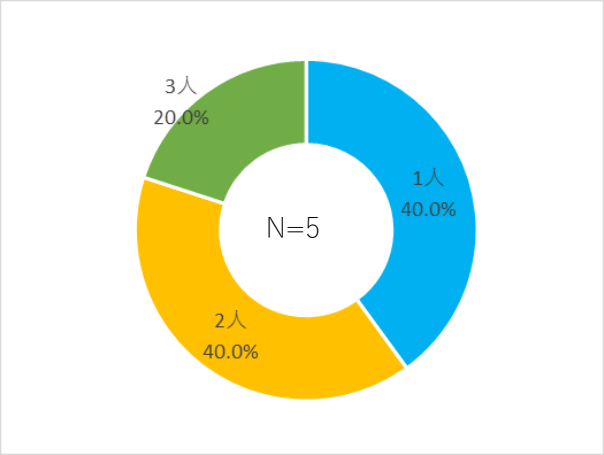
(2) 妊娠の状況

	回答数	構成比
はい	1	20.0%
いいえ	4	80.0%
計	5	100.0%



(3) 子どもの人数

	回答数	構成比
1人	2	40.0%
2人	2	40.0%
3人	1	20.0%
計	5	100.0%

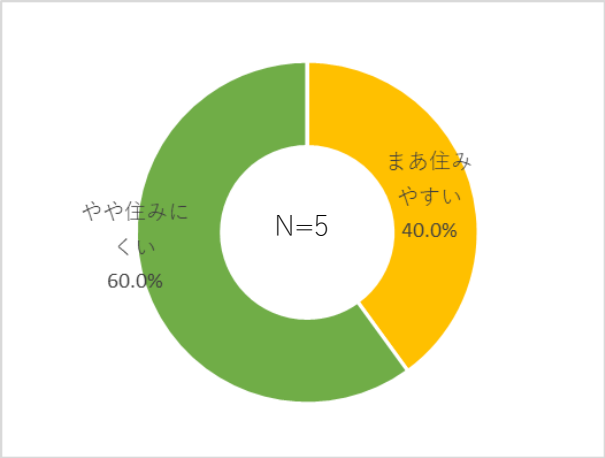


2. 山ノ内町に住むことについて

2-1. あなたにとって山ノ内町は住みやすいですか？

「やや住みにくい」（60.0%）が「まあ住みやすい」（40.0%）を上回っています。

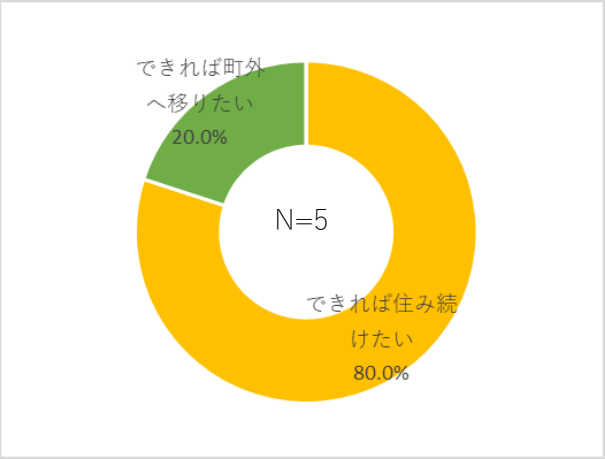
	回答数	構成比
住みやすい	0	0.0%
まあ住みやすい	2	40.0%
やや住みにくい	3	60.0%
住みにくい	0	0.0%
計	5	100.0%



2-2. あなたは今後も山ノ内町に住み続けたいですか？

「できれば住み続けたい」が80.0%、「できれば町外へ移りたい」が20.0%となっています。

	回答数	構成比
いつまでも住み続けたい	0	0.0%
できれば住み続けたい	4	80.0%
できれば町外へ移りたい	1	20.0%
すぐにでも町外へ移りたい	0	0.0%
計	5	100.0%

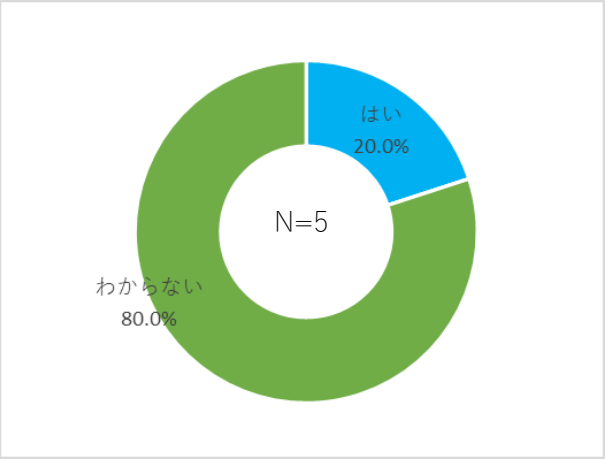


3. 子育てにおける環境・支援について

3-1. この町できょうだいを増やしていきたいと思いますか。

「わからない」が80.0%、「はい」が20.0%となっています。

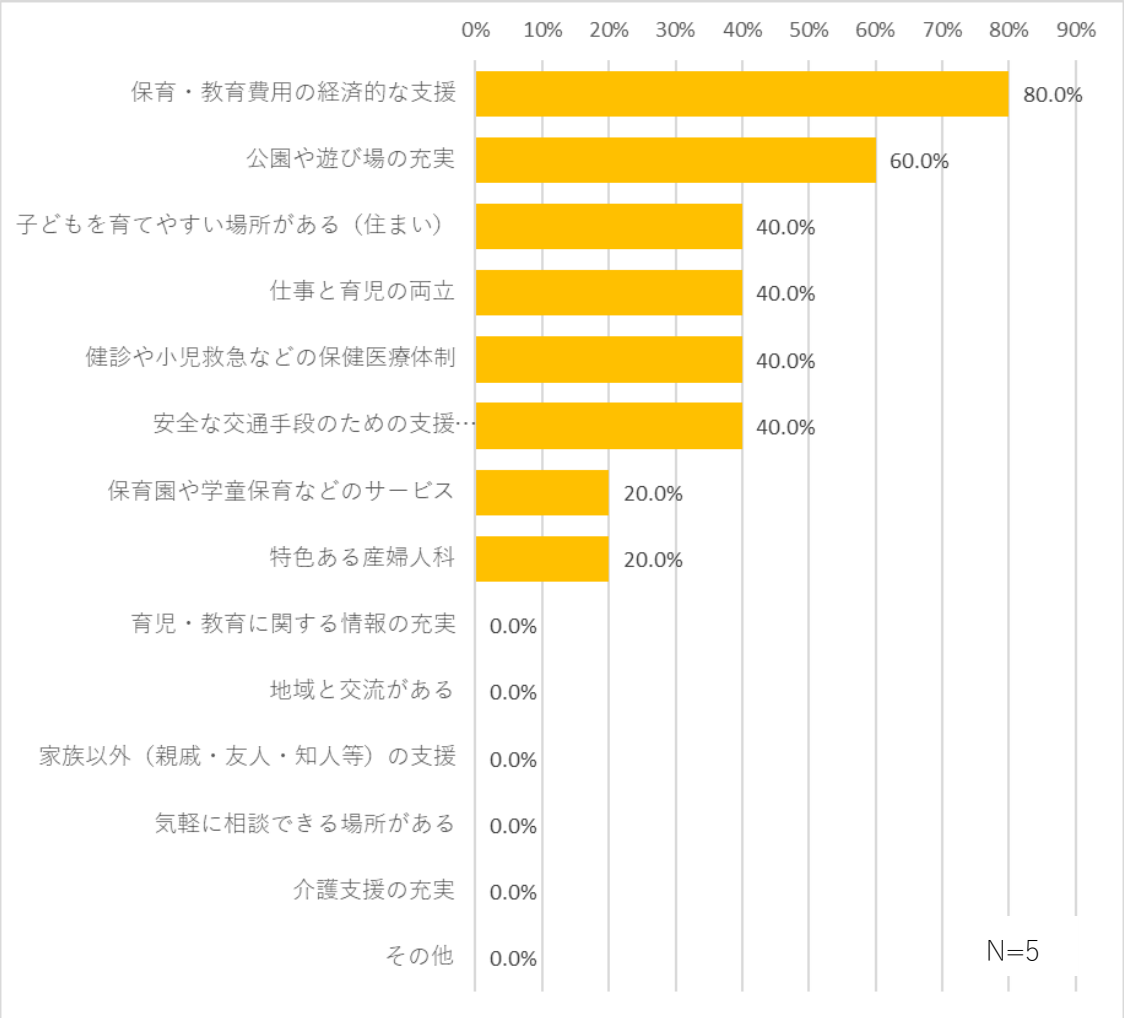
	回答数	構成比
はい	1	20.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	4	80.0%
計	5	100.0%



3-2. これからこの町で子育てをしていくにあたり、あるとよいと思うものは何ですか？

「保育・教育費用の経済的な支援」が80.0%、「公園や遊び場の充実」が60.0%となっています。

	回答数	構成比
保育・教育費用の経済的な支援	4	80.0%
公園や遊び場の充実	3	60.0%
安全な交通手段のための支援 （マタニティ支援・チャイルドシートなど）	2	40.0%
健診や小児救急などの保健医療体制	2	40.0%
仕事と育児の両立	2	40.0%
子どもを育てやすい場所がある（住まい）	2	40.0%
特色ある産婦人科	1	20.0%
保育園や学童保育などのサービス	1	20.0%
育児・教育に関する情報の充実	0	0.0%
地域と交流がある	0	0.0%
家族以外（親戚・友人・知人等）の支援	0	0.0%
気軽に相談できる場所がある	0	0.0%
介護支援の充実	0	0.0%
その他	0	0.0%
回答者数	5	

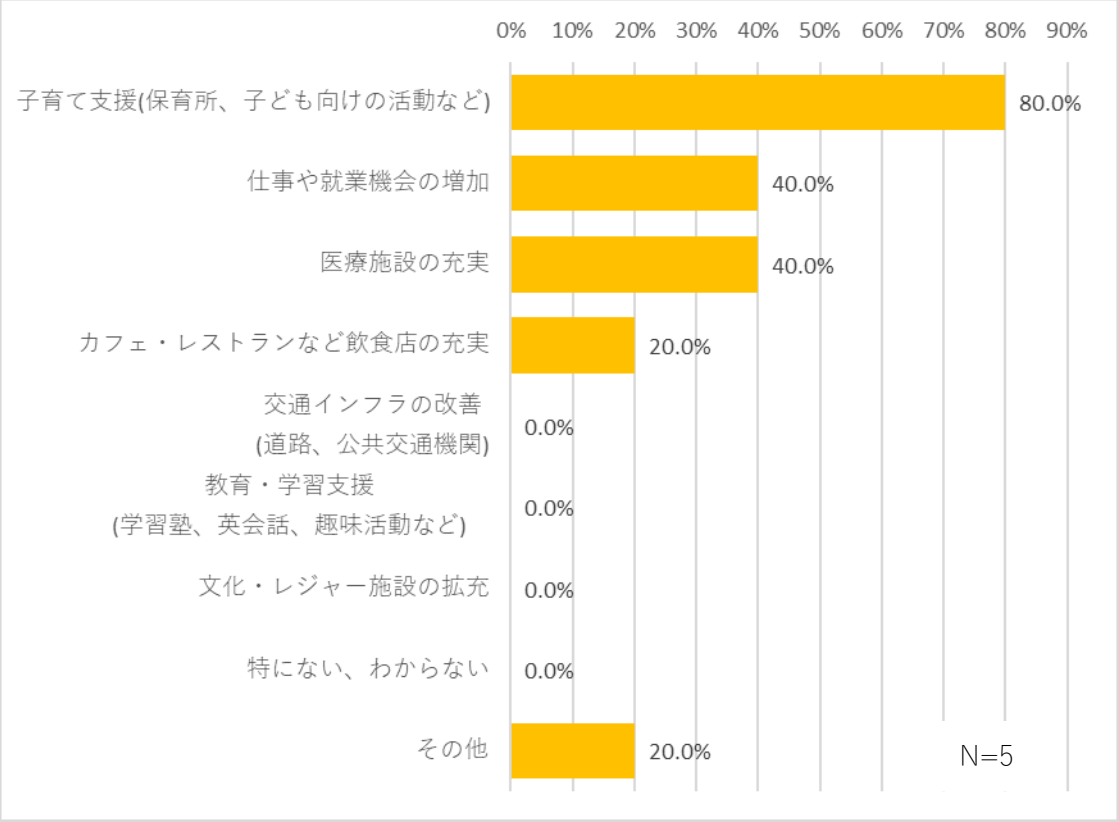

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
保育・教育費用の経済的な支援
80.0%
公園や遊び場の充実
60.0%
子どもを育てやすい場所がある（住まい）
40.0%
仕事と育児の両立
40.0%
健診や小児救急などの保健医療体制
40.0%
安全な交通手段のための支援…
40.0%
保育園や学童保育などのサービス
20.0%
特色ある産婦人科
20.0%
育児・教育に関する情報の充実
0.0%
地域と交流がある
0.0%
家族以外（親戚・友人・知人等）の支援
0.0%
気軽に相談できる場所がある
0.0%
介護支援の充実
0.0%
その他
0.0%
N=5

3-3. 「若者に選ばれるまち」の実現にはどんな取り組みが必要だと思いますか？（２つ回答）

「子育て支援（保育所、子ども向けの活動など）」が80.0%、「医療の充実」、「仕事や就業機会の増加」がそれぞれ40.0%となっています。

	回答数	構成比
子育て支援(保育所、子ども向けの活動など)	4	80.0%
医療施設の充実	2	40.0%
仕事や就業機会の増加	2	40.0%
カフェ・レストランなど飲食店の充実	1	20.0%
交通インフラの改善(道路、公共交通機関)	0	0.0%
教育・学習支援(学習塾、英会話、趣味活動など)	0	0.0%
文化・レジャー施設の拡充	0	0.0%
特にない、わからない	0	0.0%
その他	1	20.0%
回答者数	5	

【その他回答】
賃貸物件（子育てに適した間取り、創り



4. 自由記述（まちづくり全般について）

■若い夫婦が安価で購入できる建売り住宅がある。集合住宅地があり、公園がある。

③保育園保護者アンケート

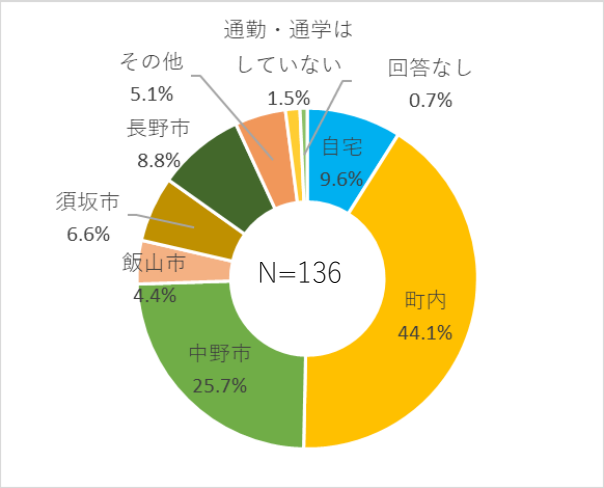
1. 回答者属性

回答者の属性は次のとおりです。

(1) 勤務地 ［複数回答］

	回答数	構成比
自宅	13	9.6%
町内	60	44.1%
中野市	35	25.7%
飯山市	6	4.4%
須坂市	9	6.6%
長野市	12	8.8%
その他	7	5.1%
通勤・通学はしていない	2	1.5%
回答なし	1	0.7%
回答者数	136	

【その他回答】
- **小布施町（2）**
- **千曲市**
- **野沢温泉村**
- **色々な場所**

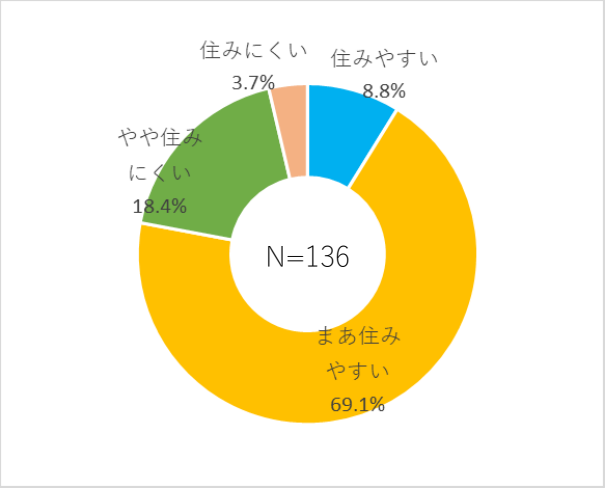


2. 山ノ内町に住むことについて

2-1. あなたにとって山ノ内町は住みやすいですか？

「まあ住みやすい」（69.1%）が最も多く、次点が「やや住みにくい」（18.4%）です。「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計は77.9%です。

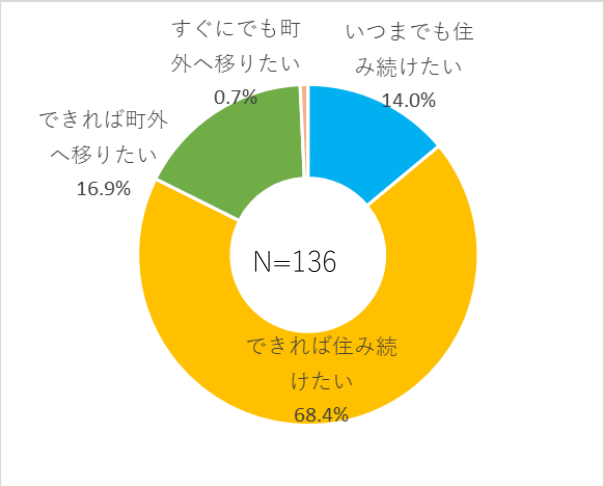
	回答数	構成比
住みやすい	12	8.8%
まあ住みやすい	94	69.1%
やや住みにくい	25	18.4%
住みにくい	5	3.7%
計	136	100.0%



2-2. あなたは今後も山ノ内町に住み続けたいですか？

「できれば住み続けたい」（68.4%）が最も多く、次点が「できれば町外へ移りたい」（16.9%）です。「いつまでも住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計は82.4%です。

	回答数	構成比
いつまでも住み続けたい	19	14.0%
できれば住み続けたい	93	68.4%
できれば町外へ移りたい	23	16.9%
すぐにでも町外へ移りたい	1	0.7%
計	136	100.0%

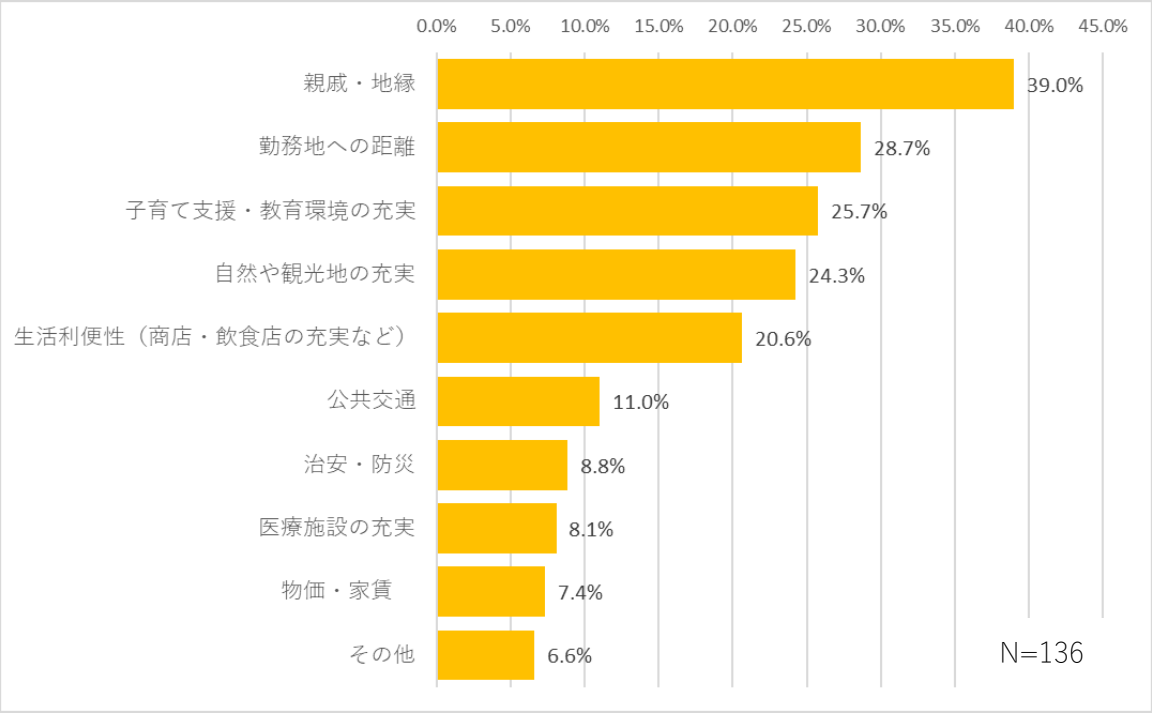


2-3. 問３でその選択肢を選んだ理由は何ですか？ 〔複数回答〕

「親戚・地縁」（39.0%）が最も多く、「勤務地への距離」（28.7%）、「子育て支援・教育環境の充実」（25.7%）の順になっています。

	回答数	構成比
親戚・地縁	53	39.0%
勤務地への距離	39	28.7%
子育て支援・教育環境の充実	35	25.7%
自然や観光地の充実	33	24.3%
生活利便性（商店・飲食店の充実など）	28	20.6%
公共交通	15	11.0%
治安・防災	12	8.8%
医療施設の充実	11	8.1%
物価・家賃	10	7.4%
その他	9	6.6%
回答者数	136	

【その他回答】
・除雪が大変だから
・生まれ育った町だから
・環境・自然があってのどかでいい
・スーパーもない　観光しかない
・結婚
・地元だから離れたくない
・近所に子供がいたり子供同志との交流もしやすい
・老後、除雪は大変。

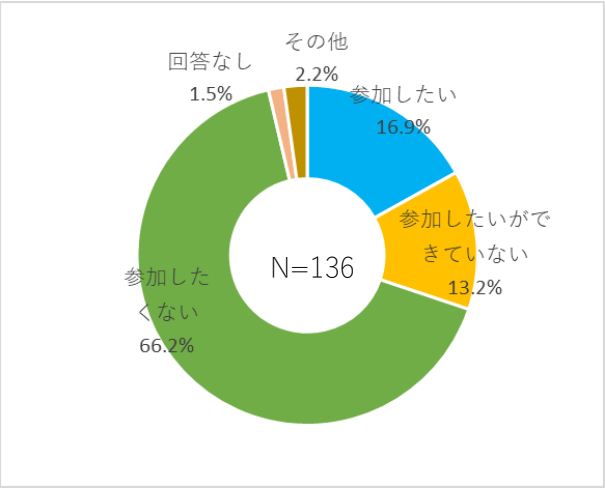


3. 地域活動への参加について

3-1. あなたは地域活動（区・組の活動、消防団活動等）に参加したいですか？

「参加したくない」が66.2%、「参加したい」が16.9%となっており、「参加したい」と「参加したいができていない」の合計が30.1%となっています。

	回答数	構成比
参加したい	23	16.9%
参加したいができていない	18	13.2%
参加したくない	90	66.2%
回答なし	2	1.5%
その他	3	2.2%
計	136	100.0%



【その他回答】
・組の活動、出席している
・参加したくないが参加している
・参加せざる負えない（人不足）。区・組の活動、消防団活動等は必要なこととは思うけど。

3-2. 問５でその選択肢を選んだ理由はなんですか？〔自由記述〕

■子育てや仕事で実際に参加が難しい。緊急時の消防団の大切さは理解するが高齢化が進む地域で区や組の活動を続けていくのはいずれ 30～50 代の大きな負担となってくると思います。ゴミ（ビンなど）収集や環境美化（草とり）交通安全のはた持などシルバーさんや外注できるものは組費の中でやっていく必要があるのではないか。高齢で参加できない。仕事で参加ができなくてもお金を払うことはできる。

■時間がないため

■子どもがいて大変だから

■子育て、仕事で忙しいため

■お祭りや伝統を維持するため

■参加する気持ちになれない、ごめんなさい。

■町の活性化につながると思うから

■今も参加している

■仕事と家事・育児で精一杯です。

■助け合って生きていきたいから

■負担が大きい
■平日の日中仕事の為、参加がむずかしいため。
■区内に変な人がいる。
■家族、自分の人生・時間を大切にしたいから
■地域とのつながりを持つため
■プライベートの時間を大切にしたい
■自分の地域の事だから
■平日は仕事や家事で忙しく休日は家族との時間を大切にしたいから
■参加している
■時間に余裕がない
■仕事、家庭、子育てで時間がとれない。
■生活していく上で、地域での助け合い、支え合いが大切だと思うから。
■消防団に加入し、活動を行っているが新入団員の加入が少なく今後いつまでやらされるか不安。
町内に住んでいる人が加入せず町外に住んでいる方が加入しているのは納得がいかない
消防団員を減らし、消防署員を増やす事はできないのか？
■働きながら子育てをしながら地域活動に参加するのはなかなか難しい
■子育て中や仕事のため、自分が自由になる時間がない
■時間的に厳しかったりする為
■必要ないと思う活動（定期的な飲み会等）が多いので。
■忙しくて
■他人とあまり関わりたくないから
■行事や地域活動などは土・日曜日に行う事が多く仕事上、土・日はいそがしく休みが出来る事がむずかしい
■誰かがやらなければいけない仕事は必ずあると思うので、それをみんなで分担していければいいと思う。
■仕事、家庭、子どもとの時間で精一杯
■子ども達のため、住んでいる地域のためと思うから
■共働き、夜勤があるので時間がない
■仕事で夜勤であるから
■仕事で参加する余裕がない
■週末休みではないため子どもや家族との時間を大事にしたい。自分の時間もほしいので。
■仕事が忙しい
■地区の方々との交流を大切にしたいので。
■日頃から地域の人と関わることで、安心・安全な生活が送れると思うから。
活動自体は面倒に感じる面もあるが、そういったことがなければ関わりを持つきっかけが

ないので。

■行くべきものは出席しようと思い。

■消防は飲み会のイメージが強い。お酒も苦手なので…区・組の活動は参加している。

■若手の意見を取り入れてもらえなさそう。考え方を押しつけてくる。

■仕事が忙しく時間が取れない為

■役を引き受けると自分で後がまを探さないといけないというルールがある（本郷）
協力したい気持ちはあるが、面倒な役をやった上に後がま探せとは精神的負担が大きすぎる

■子育て中で参加しにくい。子育て世代の活動がない。

■仕事、家庭で手いっぱいだから　ボランティア活動になるから

■若い人が少ない
人数が少なかったり、仕事で参加が難しいことも多いので、活動の今後の必要性も考えてほしい〃

■地域での交流を深めたいと思う為。

■方法がわからない

■子育て中に会議など出席することが苦労である

■仕事と育児で時間を作るのが大変。

■仕事をしているため時間がとれない。休日も用事等があり参加が難しい〃

■コミュニティも大切だから

■町の一員として

■仕事、子育てが忙しい。

■実際にどんなことをしているのか。どんなことをするのかわからないから。
仕事で忙しくて大変そうだから。

■昔ながらのしがらみが面倒である

■面倒ではあるが、人脈を広げておけば有益である

■すでに参加済

■地元でないため（仕事の都合できたため）

■ひととおりやりおえた

■仕事、家事、育児で手一杯のなため

■仕事、子どもが小さいため。

■大変

■まだ役がまわってこない

■地域の人々で形成されている所に町外出身者が入っていくのは難しい

■子どもがいて預けられない

■若者が減って地域住民の方たちとの交流がなくなってきている為

■大変、なかなかやめられない、役がまわってくる

■めんどくさそう

■昔と今とでは働き方や家族構成も遠い　参加することのハードルが高い（仕事との折り合い）

■忙しい

■年パイの方が多い、入りにくい。

■土日勤務で、勤務地も遠いため時間がない

■平日に活動があると仕事を休まないといけないから　めんどうくさい

■負担が多い（小さい子どもがいるため）

■シングルで３人の子供をそだてるのにいそがしいから。

■関わりたい気持ちはあるが、仕事と子育てで余裕はない。

■区・組の活動、消防団活動等で時間を作るなら自分・家族との時間を大切にしたい。

■小さい子供がいるので協力したいがなかなか厳しい部分がある

■必要だと思っている　現在地での顔みしりのネットワークが

■瀬木あげや川そうじなど自分たちの住んでいる所をやらなければならない。

■なかなか時間がとれない

■どんな活動があるのか知らない。

■子供が小さいうちは父も家にいてくれると助かるが、共働きだし、保育園や学校の役もあったりするから正直大変。

■めんどくさい。個人や家族の生活を大切にしたい。

■家族に負担

■大変

〇まとめ

1. 参加理由（肯定的意見）

【A】　地域のつながりや助け合いを重視している

・助け合って生きていきたいから

・町の活性化につながると思う

・安心・安全な生活のため

・町の一員として

・地域交流を深めたい

【B】伝統・行事の維持に理解がある

・お祭りや伝統を維持するため

・子どもたちのため、住んでいる地域のため

・必要だと思う

【C】　既に参加している

・今も参加している

・行くべきものは出席しようと思い

2. 参加が難しい・しない理由（否定的・中立的意見）

【D】時間的制約（最も多い）

・仕事、育児、家事で手が回らない

・土日も勤務で活動に出られない

・共働き・夜勤で自由時間がほぼない

【B】精神的・制度的な負担

・役の引継ぎ義務・後任探しの負担

・活動が多く「やめられない」空気

・高齢化で若年層に過度な負担が集中

【C】活動内容への不満・不透明

・何をしているのかわからない

・飲み会など不要な活動が多い

・若手の意見が通らない雰囲気

【D】心理的・人間関係上の障壁

・地区に入りにくい、よそ者感

・変な人がいる、関わりたくない

・コミュニティに閉塞感がある

【E】家庭・個人生活を優先したい

・家族との時間、自分の時間を大事にしたい

・プライベート重視の価値観

・家庭に負担がかかる

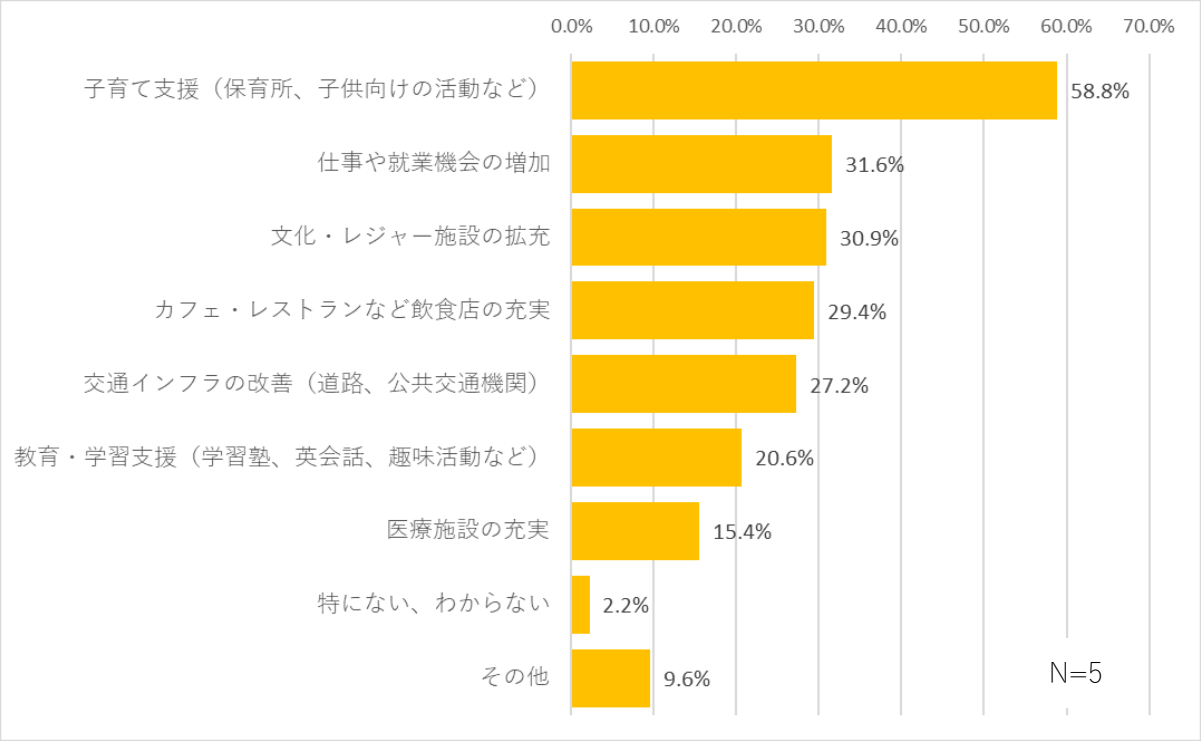
4. 「若者に選ばれるまち」について

4-1. 「若者に選ばれるまち」の実現にはどんな取り組みが必要だと思いますか？〔２つ回答〕

「子育て支援（保育所、子供向けの活動など）」が58.8%、「仕事や就業機会の増加」が31.6%、「文化・レジャー施設の拡充」が30.9%となっています。

	回答数	構成比
子育て支援（保育所、子供向けの活動など）	80	58.8%
仕事や就業機会の増加	43	31.6%
文化・レジャー施設の拡充	42	30.9%
カフェ・レストランなど飲食店の充実	40	29.4%
交通インフラの改善（道路、公共交通機関）	37	27.2%
教育・学習支援（学習塾、英会話、趣味活動など）	28	20.6%
医療施設の充実	21	15.4%
特にない、わからない	3	2.2%
その他	13	9.6%
回答者数	136	

【その他回答】
・高校の選択肢が少なく、長野までかのようことを視野に入れ交通機関の改善
・高校、大学、専門学校の設立等
・移動スーパーなど来て欲しい。もう少し子どものおもちゃを置いて欲しい
・物価・家賃
・生活に必要なスーパーなどの店が近くにあること
・スーパーを作ってほしい
・上記のような事（※役を引き受けると後釜を探さないといけないルール）がないようにしてもらいたい
・住む場所、土地の確保
・スーパーが１軒でもあれば今より住みやすいと思う
・子供にやさしい人が少ない
・スーパーや病院など近くにあると良い
・人のつながりやすい　しくみきっかけ
・令和実態に合わせる


0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
子育て支援（保育所、子供向けの活動など）
58.8%
仕事や就業機会の増加
31.6%
文化・レジャー施設の拡充
30.9%
カフェ・レストランなど飲食店の充実
29.4%
交通インフラの改善（道路、公共交通機関）
27.2%
教育・学習支援（学習塾、英会話、趣味活動など）
20.6%
医療施設の充実
15.4%
特にない、わからない
2.2%
その他
9.6%
N=5

5. 自由記述（まちづくり全般について）

■・室内アスレチック施設、未満児向けのゆめっことのすみ分け
　・上記、記載しました通り組・区の活動見直し

■おむつやミルク代支援もあればいいなと思う。

■スーパーほしいです。セブンと湯田中ドライブインの下の十字路に横断歩道が欲しいです。（切実）

■観光地にしては飲食店が少ないかなと思います。（特に湯田中駅周辺）もう少し増えたら観光客だけでなく地元の方もうれしいと思います。

■区や組の活動については協力したいのですが人口減少による組費の高騰は今後の課題かと思います。

■住みやすい町づくりを考えてくださり、ありがとうございます。「若者に選ばれるまち」になるのは大変なことだと思いますが、よろしくお願いします。町の子育て支援はよい方だと思います。
周知がもっと必要なのかなと思います。レジャー施設はあるとうれしいです。廃校を活用してとか。

■同じ幼児育児中のお母さんと話をしていると、進学席の不安や習いごとの選択肢の少なさが話題にあがります。

■子どもが遊べる所はあるが、室内プール（温泉プールでもよいので）できて欲しいです。
　子ども服も町外にいかないの買えない　それ以外は子どもことは充実していてありがたいです

■若者に選ばれる”ということは、若者が集まれる場がもっと必要だと感じています。誰もが利用しやすいスポーツ公園（固定遊具、サッカー場、バスケ、スケボーなど）があったらとても魅力的だと思います。

■病児保育の制度をととのえていただきたいです。

■子供達（町民）が行きやすい志賀高原のスキー場にしてほしい。（料金がインバウンド向けすぎてなかなか行けない）

■地域の役やPTAなどの負担は多いと思います。

■働く（働きたい）場所がない、買い物をする場所がない、という点で、若い人が居所を選択する時のハードルが高くなっているように思います。

■どこに行くにも車がひつようなのに道路はせまい　買い物も中野まで行かないといけない

■未就園児が家族で遊べるところが無い→町外の人が来ない（ファームス木島平は家族で行って楽しかった）
志賀高原の知名度が全く無い…飯田の知人に話しても知らなかった。小布施は知っていた。

■山ノ内の中心である湯田中駅のまわりに何もなく、汚くなったままの空家が目立ちすたれた印象しかない。車で移動する人ばかりなのに駐車場がないのは致命的。観光に力をいれるなら駅周辺を歩いて楽しめるようキレイにしたり新規オープンのお店をもっともっと増やして援助していくべきだと思う。町内の色々な所に気軽にとめられる駐車場をの整備も必要!!飲食店ももっとほしい！空き家を活用してほしい！

■駐車場が少なすぎる。道幅がせまく、あるく人も一列じゃないとあるけない。

■子供と高齢者への支援は手厚いと思うが、地区ごとのボランティアが多いと感じる（草とりや川そうじ等）。

■他県で子供に対する支援や場所（遊ぶ所）・プール他いい所があるので参考にし、まねしていってほしい。

■自身は県外出身者であるが、山ノ内の古くからのつながりが良くもあり悪くも感じる。つながりがある前提の考えではなく、身内がまわりにいない人への配慮もしてほしい。
例えば、一人親で身内は県外…子供の迎えや病気時の対応。ファミサポが出来たみたいだが、あまり前述のような機能は果たしてないとある町職員からきいた。一人親はどう働けばよいのか。

■町長がビジネスクラスで使った費用を、もっとみんなに平等に使うようにするべきだと思う。（どうしても必要なら、差額を自費負担したらどうでしょうか？）

■上林へ志賀高原までの巨大ロープウェイの建設を提案します。

公園が少ない。やまびこの遊具も少なくせまい。降園後遊ばせる所がなく困っています。
迎え後、保護者負担でいいので園庭で遊んでOKにしてもらえると助かります。（県外ではOKな園もあります）
このアンケート・意見いかされるのでしょうか…。取っておわりにしないで下さいね。

■子どもの遊び場が少ないです。赤沼公園みたいな公園ができるとよいと思います。
インバウンド需要で、町がとても変わってきていると感じています。観光による収入は山ノ内にとってとても大切な収入であることはまちがいないと思っていますが、住んでいる住民にも山ノ内がとってもよい町だと思えるような取り組みをもっとお願いしたいです。

■中野市の廃校利用のように統合後に子育て支援施設の検討をしてほしい。

■１つでも２つでもいいので町内にもスーパーがあったらいいなと思います。（いつも買い物は中野までいかないといけないので）

■中野市のように給食費無料や生後１才になるまでオムツを定期的に配送してくれる明石市みたいに子育て世帯向け支援を増やせば、移住促進にもなるのでは...？と思います

■障害をもつ人に対する地域環境の整備、支援の充実をお願いしたい。（相談する場所の拡充、助成金の充実など）

■健康思考が高まっているので、山ノ内の野菜・米・くだものを有機農法中心で育てていく。
土地も元気になり、町民も健康になり、そうった農法に関心のある都会からの移住者も増えていく。町全体が活気づく。

■・公園や保育園のすぐ隣に果樹園があるのがとても気になります。消毒を広範囲でまくので、遊具に消毒がついていそうで行きたいと思えません。
・給食がオーガニックのものになると、子育てをする点でとても魅力的だと思います。
・移住者のために電話番号を記載するときは市外局番からのせてほしいです。
・公園が近くにもっとほしい。みんなが歩いて行けるくらいのところに。

■まちづくりで自然と子育ての組み合わせが少なすぎると思います。ファミリー子ども若者向けに自然を体験し、学べる施設が必要。インバウンド観光客大人向けに町全体を分解、紹介する、伝統を伝えるのもの（もっと深堀り）　学社融合施設

■特定の地域の意見が強すぎるのは良くない。それが全体がよい町になる事のへい害となっている。

■他の市町村がやっていないような子育て支援、思い切ったことをする
子ども手当ての充実（例えば…入学準備品などお金がとってもかかるのでその補助をして欲しい、低収入家庭だけでなく）
子育てをするにはこの自然環境はとても良いと思う。なのでより良い子育て支援に力を入れたら、山ノ内に若い人が増えると思う
子どもがもっと欲しくてもお金がとにかくかかるので…出産時などだけではなく継続的な支援を。″

■住宅用土地が少ない

■子ども向けのイベント事を増やしてほしい。親子参加型。（保育園の行事ではなく）ものづくりや自然体験（農業やアクティビティ等）

■近隣の市町村と比べると、制度や取り組みがおくれている気がします。特に保育園は、保護者会などが強く、働く親として負担が大きいです。駐車場係や保護者会費などいろいろと・・・

■保育園、3歳児未満児も保育料を無料にしてほしいです。

■小学校を新しく作るのではなく今ある場所をうまく使えないのか。昔のように１軒でもスーパーは作れないのか

■子育て親が働ける場を増やしてほしい　仕事がないと若者ももどってこない

■農業をやっています。田畑の拡大をしたいが、それに伴い機械の導入など必要ですが、補助制度が少ない気がします。農業の担い手が少ない中、若者に託す時代なら、もっと考えてほしいです。

■スーパーがほしいです。町内で生活できるようにしてほしい。

■子育て支援について、児童手当や出産・育児応援金などの支援をありがたく思う。一方で、０歳児の保育園受け入れ人数や、年度末の保育園での特別保育対応は見直していただきたい。今は産後一年で共働き、かつ親族に頼れない家庭も増えているため、現状に合った体制に見直していただきたい。

■出産時の補助はありますが、小学校に上がるくらいまでの補助もあるともっと若者が集まってくると思います。（オムツ・ミルク代の補助・未満児の保育料補助・給食費の補助等）産休・育休中は一番お金が心配でした。

■病後児保育、未就園児の託児所があると良い

■祝日土日、全園で１日保育をしてほしい。ツルヤみたいなスーパーがあると良い。

■インバウンドが増加にあるが、飲食店があっとう的に少ない
子供の習いごとが少ないと思う（剣道やドッチボールなどがやりたい子供もいる）

■車社会なので、近隣の市町村へ通勤することはできると思う。住んでもらうには、子育て支援を手厚くするとか、何か行政的なプラス要素が必要。移住支援等。あとは住む場所（アパート少ないので）増やすとか、歩いて行ける買い物場所、飲食店があればいいのではないか。他市町村からわざわざ移り住んでもらうには、何か異次元のほかにはない政策が必要。

■町内会の役が多すぎる。昔からあるからではなく、時代にあった役だけでよい。

■通勤、通学に時間がかかる分、補助金などがあると移住への意欲が高まる。
小児科が中野にしかない、スーパーもない所にふ便さを感じる
空家、土地などをホームページにのせるなど住居のあっせんをしてほしい。
第３子に対する補助金などどんなサービスがあるかの発信をしていってほしい

■最近、色々工夫して新しい取り組みをしてくださっているのを感じるが、山ノ内らしさや独自性はあまり感じない気がする。（他で聞いたことがあるものばかり。）
何か山ノ内らしい独自性があれば注目してもらえるか？（小学校統合も然り。）

■役場に行きづらいし、山ノ内町が今後どのようにしていくのか町民にもっと分かりやすくしてほしいです。

■子供も育っていく中で習い事や買いものに出る時に山ノ内は不便だと感じます。
中野は公園もあり、スーパーもあり、病院もあり全てがまとまっているので何かするのにとても便利なので山ノ内もどこかにもう少し便利になるような施設がほしい。観光地のわりに町の盛り上がりが弱く、もっと目玉になるようなものが必要。

■この地に住んでいる人のイメージ　知らない場に参加するハードルが高い人が多めな印象。ハードルをさげていきたい。

■地域の活動（区・組）が昔のしきたりがあり、若者には向いていない。

■子どもが遊べる場所がない

■買い物ひとつするにも中野市へ行かなければいけないのが大変な時がある。（子供が小さいため。）

■須賀川は空き地が多いのに特になにもなく、少しもったいない。スキー場（主に）

■どうしても他市町村の仕事の求人のほうが良く、長野市への往復がめんどうなのでゆくゆくのことを考えています。

■インバウンド外国人が土地や家屋に買もわるのが必配

〇まとめ

【子育て・教育に関する意見】

主な課題	提案・要望
経済的な負担が大きい	・おむつ・ミルク代、給食費、保育料などの支援拡充 ・児童手当や育児応援金の継続的支援
保育体制の不備	・病児・病後児保育の整備 ・土日祝の保育実施 ・0 歳児受け入れ枠の拡大
遊び場・学びの選択肢が少ない	・屋内遊具施設、温泉プール、自然体験型施設の新設 ・赤沼公園のような広く安全な公園の増設 ・習い事や塾などの教育支援
働く親の負担が重い	・ファミサポの機能強化 ・保護者会活動など保育園・学校の負担軽減

【買い物・生活利便性】

主な課題	提案・要望
スーパーや日用品の購入場所がない	・町内にスーパー誘致（例：ツルヤ希望） ・中野市までの買い物負担軽減
医療施設が少ない	・町内に小児科・医療機関の整備
駐車場・道幅が狭く不便	・駐車場の拡充、歩道整備、横断歩道の設置（セブン・湯田中十字路など）
全体的に不便な町の構造	・複合商業・公共施設の整備による集約 ・公共交通や買い物サポートの仕組み検討

【地域活動・住民関係】

主な課題	提案・要望
区・組活動の負担が大きい	・活動の見直し・合理化 ・役の簡素化と負担軽減
閉鎖的で参加しにくい雰囲気	・移住者や一人親に配慮した仕組みづくり ・若者や新住民が入りやすい活動への改革
情報が届かない	・制度・支援・地域活動に関する広報の強化 ・町 HP などで支援制度を明示

🏠 【住まい・移住支援に関する意見】

主な課題	提案・要望
住宅用地・賃貸物件の不足	・空き家活用、アパート誘致 ・住居情報の HP 公開
支援策の周知不足	・第 3 子支援、移住者支援の強化と PR
移住したくなる魅力が弱い	・移住者向けに特色ある子育て政策の導入 ・交通や通勤に関する補助制度検討

📷 【観光・地域資源の活用】

主な課題	提案・要望
湯田中駅周辺がさびれている	・空き家活用、観光地の美化・整備 ・新規飲食店への補助や支援
観光と住民生活の両立が難しい	・住民にも魅力ある施策の実施（観光収入の町内還元）
山ノ内らしさが薄い	・独自性あるまちづくり（伝統文化、自然体験、学社融合施設など）
スキー場など地元が使いづらい	・町民割引など地元向け料金設定の検討

🌿 【環境・農業・自然との共生】

主な課題	提案・要望
農薬や環境への不安	・果樹園の消毒に関する安全対策 ・オーガニック給食の導入
農業継続の困難さ	・機械導入などの補助金制度拡充 ・若手担い手支援
自然と子育ての接点が少ない	・自然体験と学びを融合した施設の整備（教育×環境）

📝 【その他・制度への声】

主な課題	提案・要望
行政に対する不信や不満	・公費の使い方の透明性（例：町長の出張費） ・住民との対話機会の充実
他地域と比較して施策が遅れている	・給食無料・物資支給・補助金等の大胆な支援策導入
町民意識の変化が必要	・住民の排他性・参加ハードルを下げる施策（町民講座や交流の場など）